

のぼうべつ

市の人口

6月末現在

総人口 54,402 (103増)

男 27,138 (68増)

女 27,264 (35増)

世帯数 16,520 (71増)

() 内は前月との比較増減



中央公民館でゴミかごを編む主婦たち

涼しさを編む

簾工芸教室

簾製品を安くしかも手作りの味を楽しんでもらおうと、市教育委員会主催の簾工芸教室が七月十七日の中公民館を皮切りに市内四公民館で開かれました。

簾製品は、涼しさを呼ぶ夏向きの調度品として人気がありますが、実際に作ってみると、指先の力がいり、意外とむずかしく、定規をあててパンかご、クズかごに取り組んでいました。

少し加減を間違えると、広がりすぎたり逆にしほみすぎたりで、講師の松田敦子さんは、マイクを片手に「孤軍奮闘」。そのかいがあつてか、二、三十分もするとコップを飲み込み、見る見るうちに形が出来上がりてくるなど、どの主婦も完成が待ち遠しそうにせつせつと手を動かしていました。

8 1978
.1

シリーズ「あなたの地区の施設ができるまで」②登別地区

市民要求に応える経済的マチづくり

シリーズ②の今回は、登別地区的婦人センターと道営住宅を取りあげてみましょう。そして、みなさんはあまり知られていない登別漁港、ファンベ山温泉の現在までの経過についてもふれてみたいと思います。

登別地区は、登別温泉とはちがい、小高い山に囲まれた気候も比較的温暖な、平坦な地形であり、温泉への玄関口として開けた所ですが、昔から市有地がなく、人口の増加とともに必要な公共施設の建設がたち遅れていた地区でもあります。

市有地もないのに、どのようにして市民の強い要望に応えていったかをお知らせしましょう。

広大な遊休地を活用へ

昭和五十年十一月、登別町内連絡協議会主催の市政懇談会が、登民会館でひらかれました。

前年度に未解決であった、大きな問題にしぼって要望が出され、話し合いが行われましたが、町内会側約五十人、市側から部長以上が出席した中で、ある町内会長から、「登別地区でたえていこう」とこの年の十二月に、住友石炭開発株式会社に対し、総合集会施設を建設したいので、遊休地を無償譲渡してほしい」と交渉開

市では、早速これらの要望にこたえていこうと、この年の十二月に、住友石炭開発株式会社に対し、総合集会施設を建設したいので、遊休地を無償譲渡してほしい」と交渉開

その後、住友石炭は傍系会社として、泉観光開発株式会社と未利用地のまま、何の開発計画もなく放置されていたので、市に返還してもらうための働きかけが、積極的に行なわれました。

昭和五十年十二月に統一して、翌年六月にも、無償譲渡してほしいと催促していますが、すでに斜陽化していた石炭産業をかかえる住友石炭鉱業㈱の土地は、抵当権等の設定が行なわれており、市としては、このままの状態で、無償譲渡を受けることはできません。

すみやかにこの土地に設定された抵当権等を解除し、その他欠点のない状態において、無償譲渡を受けなければなりません。

ところが、簡単に抵当権の解除ができる状態ではなく、しかも、登別連など住民の強い集会施設建設の要望にも早く応えて、着工しました。

また、これとは別に町内会では元住友石炭鉱業の跡地を、市に返還するように、強く働きかけ登別地区的発展を考えるべきだ」と市に提案しました。



利用がさかんな婦人センター



道営住宅は公社の土地を利用

登別地区で一番最初に建った公営住宅といえば、登別東町四丁目の神社下の昭和二十九年と三十三年に建った市営住宅があり、次いで昭和四十一年に建設の登別本町一丁目の旭町地がありますが、その後の人口増加と住宅難解消のために計画的な公営住宅の建設を行なっていました。

同じ用地の事では、これより先に、前回ふれた登別温泉の北大分院を移転させるため、市では土木現業所、住友石炭鉱業㈱、北大的三者との間に入つて、河川敷地と住友所有地との交換、伏古別川河川改修、さらに登別漁港の副港しゆんせつ工事によってあがる土砂を、北大分院移転先に埋め立てるという三つの事業を、同じ時期に並行して促進しなければならず強力な働きかけを行ないました。

こうして出来上った婦人センターの建設にかかる総事業費一億四千九百六十万円の財源内訳は、市税二千一百四十万円、国の補助三千円、道の補助二千万円、市

債(借金)七千七百三十万円です。このほかに、調度品に一千万円周辺整備(千平方㍍)に千六百万円をかけています。

婦人センター建設の場合も、この年に開道の補助枠がないのに

市長動静

6月26日～7月11日

▽6月26日～登別中央公民館で開催された、たばこ販売協議会年次大会に出席。引き続き、青少年問題協議会に出席。▽同27日～労働福祉セントーで行なわれた登別交通安全協会総会に出席、優良運転者表彰受賞者を激励。▽同28日～苦小牧市で開催された家庭婦人、バーレーボール大会出場決定の天使チーム・愛球チーム代表と面会、健闘を祈り激励する。▽同29日～担当職員と懇親事項について打ち合わせを行なう。▽同30日～保健司会登別分区代表と面会、「社会を明るくする運動」について懇談。午後、七月一日付人事異動命令を執行。▽7月1日～幹部職員と打ち合わせ、室蘭市内官公署と打合せ、室蘭児童相談所長と面会、懇談する。▽同4日～相次ぐ来客とあいさつまわりを行なう。▽同3日～転任あいさつに来庁した

室蘭児童相談所長と面会、懇談する。▽同5日～登別温泉中学校PTA代表と懇談、通学路などについて要望を当職員と懇談する。▽同6日～登別婦人センターで開催された、第二十一回振地区漁協婦人部大会に出席。▽同7日～登別婦人部大会に出席。▽同8日～登別地区労定期大会に出席。▽同9日～登別地区労定期大会に出席。▽同10日～幌別ダムでの日鋼ボート部艇庫開きに出席。▽同11日～定例記者会見を行なう。午後、登別観光協会役員と面会、観光問題などについて陳情を受ける。

27年かかつて現在の漁港に

一年の調査完成後です。
この間、昭和二十五年度に五百三十万円の調査費がついて、翌年六月二十九日、農林省告示によつて第二種漁港の指定を受け、この年から本格的な築設工事がはじまりました。

現在、漁港修築事業の第六次計画が実施されておりますが、五億六千万円を投入し、昭和五十六年度までに東防波堤新設、西防波堤などの事業完了で、第二種漁港としての整備はほとんど終了することになります。

登別・白老・虎杖浜の三つの漁業協同組合が利用している登別漁港は、昭和二十五年度から整備計画がスタートし、現在のような漁港形態となつたのは、昭和四十九

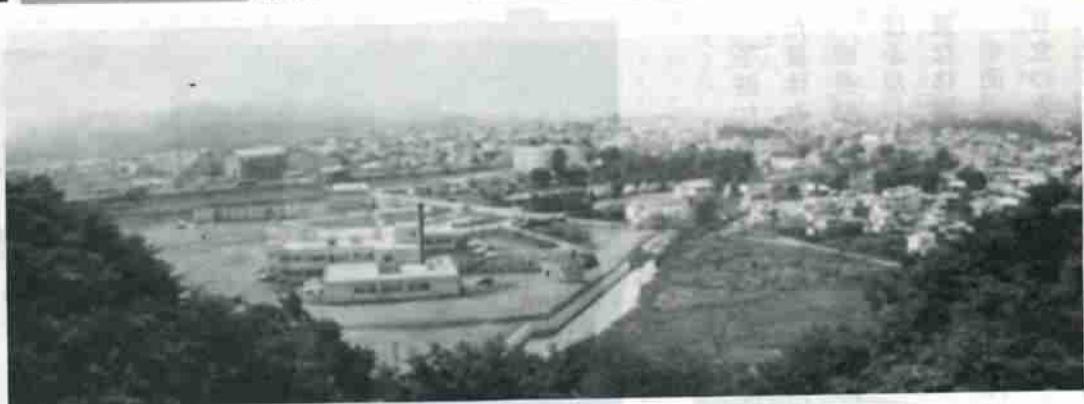
昭和三十七年までは、ホキ貝など根付資源を扱る前浜漁業が中心であったことと、比較的国費の投入が少なかつたため、計画通りの進捗をみなかつたのです。が、スケトウ漁への漁場区域の拡大にともない船体が十トント級に大きくなってきたことなどから、登別漁港の整備拡張は、漁民の大きな課題でした。

登別市内では、第一種漁港の鶴別漁港と富浦漁港がありましたが、未満の船体卷き揚げに、常時経費がかかるほか、漁港築設には地元負担が大きく、国費投票による第二種の登別漁港の早期整備がどうしても必要でした。

それに、登別市内の海浜浸透や砂の着床現象によつて、安定した漁港としての条件を得ることもできないことから停船ができる内陸しゆんせつによる漁港築設が行わることになつたのです。

二十九億四千円もの巨費を投じて出来あがつた現在の漁港は、内港二万二千五百平方尺、副港一万二千平方尺の広さがあつて、三

百隻の漁船が利用しています。



北大分院、婦人センターが建つた登別町三丁目周辺

現在、漁港修築事業の第六次計画が実施されておりますが、五億六千万円を投入し、昭和五十六年度までに東防波堤新設、西防波堤などの事業完了で、第二種漁港としての整備はほとんど終了することになります。



現在も築設する登別漁港

計画の内容は、五ヵ年計画で大

れい、そい、あぶらこなどの根魚類のほか、ここ数年間姿を見せな糸を垂れている姿が見受けられます。ここは、一年中を通しての順位となっており、金額で見ても総額六億一千五百万円のうち、スケトウタラが四億一千七百五十万円を占めています。このようにして、巨費を投入して立派に出来上がった漁港ですが登別地区以外の一般の市民の間には、あまりなじみが無いようです。子供さんを連れ立つての社会科勉強にも恰好の場所でもありますので、一度見学に出てみてはいかがでしょうか。

また、ここで余談になりますが漁港築設の副産物のお話を紹介しましょう。

今から十一年前の昭和四十二年四月、登別町に在住の石川小二郎さんから當時の、岩倉町長に対し市有地（ファンベ山の海辺地）百二十平方尺の借用願いが出されました。

温泉掘削を目的に、この年の八月町の承諾を得て、深度八百尺をボーリングの結果、泉質が芒硝泉と、温泉業者の計画について、市でボーリングの結果、泉質が芒硝泉四千五百万円で建設し、「登別臨市有地（ファンベ山の海辺地）百二十平方尺の借用願いが出されました。

二社の内、株木建設株が、その後にこの計画を辞退しましたが、松浦企画の計画について、市では、温泉道路の計画区域であることを認めた上で、石材業者との関連が出てくること、また、漁港の拡張計画と競合するなどの理由から、市有地払い下げはもちらん、観光開発計画を承認するわけにはいきませんでした。

この計画にある温泉が、俗称ファンベ山温泉といわれ、今でも当時の状態で、危険なため最近になつて通行止めの処置をとっています。

もし、この場所に観光開発が行われば、街の形態も大きく変わつたのかもしれません。



ファンベ山観光開発も今は昔の夢に

全道展移動展

昭和53年8月11日（金）～15日（火）

登別市中央公民館2階ホール

●主催 登別市文化協会 全道美術協会 北海道新聞社

●主管 登別美術協会

●後援 登別市教育委員会

※国松登画伯による作品解説は8月13日（日）午後1時から3時まで会場で行ないますので、多数のご来場をお待ちしています。

子供たちにとって、待ちに待つた夏休みに入りました。

成長期の子供にとって、夏休みはふだんの生活と違った形で、貴重な体験が得られる時期です。

半面、交通事故が増え、非行が目立つときもあります。

そこで、保護者、とくにお母さんはふだんの生活と違った形で、貴重な体験が得られる時期です。

一方で、交通事故が増え、非行が目立つときもあります。

そこで、保護者、とくにお母さんは対象に、この貴重な夏休みをどう上手に過ごすかについて特集しました。



昨年行われた、登別子供会連合会主催の鉱山キャンプ村から

夏休み期間中の小、中学生向けに、「地図あそび」というのをご紹介します。

このあそびは一人でも、数人のグループでも、また家族ぐるみ、

旧跡、石仏などがあったとします。これを地図に書いたら、こんどはその由来の調査です。

桜の大木はいつごろからあるのか、旧跡の歴史、石仏の由来などを親や地元の古老に聞いたり、図書館などで調べてみましょう。

一日目のコースが終わったら、こんどは二日目のコースに取りかかります。こうして、夏休み期間中に、自分だけのユニークな地図ができ上がります。

このあそびは、子供たちにさまざまなことを教えてくれるはずです。

まず、自分の住んでいる土地の実情を知ることで地域の一員としての自覚が芽生えるでしょう。さらに、物を見る観察力、自分で考える思考力が養われます。

親子の対話も進み、また、かなりの距離を歩くことで、足腰が自然に鍛えられます。

老人とのふれあい

お年寄りは
「生活の知恵袋」

高学年の小学生はサイクリングによる地図づくりもできます。

また、テーマを決め

て写真を撮り、「わが町

小中高校生のみなさん、あなたは日ころ、おじいちゃんやおばあちゃんとゆっくり話をしたことがありますか。

多分、学校の勉強やクラブ活動などがいそがしくて、話をする機会を過しました。

冒険のたのしさ

「地図のあそび」のすすめ

町内会グループでも、どんな形でもできます。

自宅を中心に毎日コースを変えて歩いてみます。そして、自分の住んでいる地域社会にどんなものがあるかを調べ、地図を作っています。

一日目のコースに、桜の大木、

旧跡、石仏などがあったとします。

これを地図に書いたら、こんどはその由来の調査です。

桜の大木はいつごろからあるのか、旧跡の歴史、石仏の由来などを親や地元の古老に聞いたり、図書館などで調べてみましょう。

一日目のコースが終わったら、

こんどは二日目のコースに取りかかります。こうして、夏休み期間中に、自分だけのユニークな地図ができ上がります。

このあそびは、子供たちにさまざまなことを教えてくれるはずです。

まず、自分の住んでいる土地の実情を知ることで地域の一員としての自覚が芽生えるでしょう。

さらに、物を見る観察力、自分で考える思考力が養われます。

親子の対話も進み、また、かなりの距離を歩くことで、足腰が自然に鍛えられます。

鶴別中学校 生活指導係

竹村敏雄先生



余裕ある計画を続ける 努力が、夏休みのポイント

長期間の休みですから、勉強することも大事ですが、普段で

きながった読書や工作など、与えられた中で自主的な生活を送って欲しいものです。

ただ、計画だおれにならならぬよう、余裕のあるスケジ

ユールを組んで、何かをやりとげたという自信を持つことがで

きたら、本人にとって一番プラスになります。

そのためには、無理をしない

で毎日何時間か続けることが、できますので、父兄の配慮が一

番大切になります。

特に、日中両親とも働いてい

る家庭では、友達のたまり場にな

り、開放されたふんい氣から

非行に走りやすい環境になりま

すので、充分注意が必要です。

名木」「旧跡」といった写真集

をつくるのも地図あそびのもうひとつの楽しみ方です。

その他どんな遊び方ができるか自分で考えてみてください。

自分でも考えてみてください。

夏休みのきまり



市内の各小・中学校が夏休みに入りましたが、一人一人が規則を守り、悪い誘いには決して負けず事故のない、楽しい元気な毎日を过しましょう。

会が少ないのであります。しかし、夏休みを機会に、一度じっくりと話をすることをすすめます。

おじいちゃん、おばあちゃんがいない人は、近所のお年寄りでもいいでしょう。

なぜ話をすることをすすめるかといいますと、おじいちゃん、おばあちゃんというのは、いわば生活の恵袋。だからです。いろんなことを知っていますよ。

たとえば、高校生ならあなたの家の家紋のことを聞いてこんなさい。たまち、その紋様の意味から紋の歴史まで教えてくれるでしょう。

また、中小学生には郷土の民話や伝説など、本などで読むことができないめずらしい話を、興味深く語ってくれるはずです。

ことしの夏休みは、ぜひおじいちゃんやおばあちゃんの話を聞いて、いろいろなことを教えてもらいましょう。

夏休みは非行の季節

「十五歳は「危ない年齢」

夏休み期間中は、規則正しい学校生活から解放され、児童生徒の生活リズムも乱れがちです。少年非行の多くは、この長い休みの間に芽生え、育ち、新学期のころには、学校ぎらいや家出、さらには盗み、傷害といった本格的な非行の道を歩み始めることになります。

子供の行動スタイルを知ろう

しつけは心身の発達に応じて

（考え方や行動が一面的）

子供に対する交通安全のしつけ

は、画一的でなく、心身の発達に応じた方法で行うのが理想的です。

そのためには、子供の特性をよく知しておく必要があります。

そのいくつかをご紹介します。

登別市青少年補導委員会
高柳久雄さん



家庭内のルールは守らせたいものです

なくてはなりません。

現代は、自分を大切にして自分の力で生きていこうという意思に欠け、人に頼るという、他力本願的風潮があります。

また、親子の対話が少なくなってきたため、日頃の子供の不満が、この時期に、人の口車や甘い言葉にまどわされ非行に走ることがあります。

こうした非行化を防ぐには、思っています。

さらに、行き先を告げる、帰宅時間を守るなど、家庭内のきまりを作り、厳しく守らせることは是非行っていただきたいと思いません。

児童の非行化は、非常に根が深く、社会、家庭環境を考えな

親の意見を押しのけるのは逆効

かできません。
（物事を単純にしか理解できません）

黄色い旗をあげれば、あるいは青になれば、車は必ず止まるものと思ふこむ傾向があります。

チビツコ集合

納涼ハイキング

信号が青になれば、車は必ず止まるものと思ふこむ傾向があります。

母親といっしょに横断していく

子供だけが事故にあうケースが多いのは、青信号になったからといって車の止まるのを確認しないまま走り出します。

市内の各児童館では、児童を対象にハイキングを行ないます。

参加申し込みは、各児童館備え付けの用紙で申し込みください。

未就学児童が参加する場合は、保護者の付き添いが必要です。

▽八月八日 登別・富浦児童館

▽八月九日 桶別・富士児童館

▽八月十日 富浜・鶯別児童館

▽八月十一日 桶別淨水場まで

▽八月十二日 トッカリシ浜（父兄同伴で遊戯場、喫茶店、食堂（食事以外）

▽八月十三日 鉄道線路での遊び、市内の海岸、河口での泳ぎは全面禁止（父兄の方もご協力ください）

▽泳げるところ 室蘭電信浜・トッカリシ浜（父兄同伴で行くこと）

▽その他 人通りの少ないところでの一人歩きはしないこと

▽登別市学校生活指導連絡会登別市青少年補導センター

▽登別市青少年補導委員会



△帰宅時間 各学校でそれぞれ決められていますが、おおむね次のとおりです。

平日：午後六時／七時

祭典・盆おどり：午後八時三十分／九時

健康センターを利用して (婦人センター 3階)

利用してみて、本当に効きめがあるので驚いています。お腹や首などのむだな脂肪は、バイブレーターを使うと良いみたいですし、ランニングトレーナーや卓球で汗を流した後は、回転しているローラーの上に足を乗せると、すっきりほぐすこともできます。

夜間は混むこともありますが、日中ですとまだ余裕がありますから、他の人にも利用されること



を是非お勧めしたいですね。

ただ困るのは子供のこと、機械が置いてありますから、小さい子には危険です。

1階の託児室で遊ばせるようにしたいのですが、誰かついていないと不安です。

今、利用している近所のお母さん方と「サークルを作って、交替で見るようにしてはどうか」と話し合っているところです。

せっかくの施設なので、日頃の運動不足解消のためにも続けて利用したいと思っています。

登別東町3丁目7 武中 純子さん

おしらせ

おしらせ

おしらせ

大正5年～昭和11年生まれの方は、最後の機会です。

がとられました。

農業者年金の制度が始まり今

年で七年目を迎えましたが、まだ理解されず、未加入の方がかなりいます。

現在、全国で百十二万人の農業者が加入し、五万人の人が後継者に經營を譲り、年金を受けています。

内容も年々充実していますが

六月十三日の改正で、●年金に加入していくも、保険料を未納したため受給資格を失った方や●未加入で、すでに六十歳になられた方でも、最低五年間の保険料を納めると、年金を受け取ることができる特例措置

※詳細については、農業委員会事務局にお問い合わせください。
(電話5局2-111内線323)

た方

道では、道民生活安定条例によつて「商品の適正包装の一般的基準」を制定、今年の七月一日から適用になりました。

これは、書のある包装材料や過大包装から消費者を守ること、限りある資源を有効に使うという

省資源省エネルギー省時代への要請に答えるために制定されました。

包装の適正化を進めるためには事業者と消費者の相互信頼と協力が大切です。みなさんのご協力をお願いします。

(適正包装の一般的基準)

○包装材料や容器が安全なこと

○必要以上に空間があつたり、費用をかけたりしないこと

○表示や説明が適正にされていること

○買いややすく、他の商品とも比較しやすい内容量や単位なこと

○無理な詰め合せや抱き合せをしていないもの

○二次的の使用を誇張しないこと

○捨てるにより、環境を汚さないもの

水の事故防止



泳ぐときは、安全区域の標示のある場所で

正しく遊んで
楽しい花火



市民おどり 講習会日程

●登別温泉地区：8月3日・30日
・登別温泉公民館、●登別地区：

8月3日・28日：登別公民館、●
富浦地区：8月4日・29日：富浦

漁民会館、●中央地区：8月3日
28日：中央公民館、●幌別地区：

8月4日・29日：幌別生活館、●
鷹別公民館、●美園地区：8月
10日・30日：ひまわり園

昨年の市民まつりから

赤ちゃん(3ヶ月児)相談

◎内容 医師による診察・計測
・生活指導・栄養指導 ◎用意するもの 母子健康手帳・換えオムツ・バスタオル ◎日程
◆8月29日…鷹別公民館(受付時間12時～12時30分・鷹別地区の昭和53年5月出生児) ◆8月30日…中央公民館(受付時間12時15分～12時30分・中央地区の昭和53年5月出生児) ※当日の終了時間は3時頃になります。

不用品ダイヤル市

5局2111内線216

おわけします(売り)
○ミニスポーツ自転車(22インチ)
○ルームエアコン ○反射式石油ストーブ

ゆずってください(買い)
○ベビーベッド ○自転車用補助イス ○婦人用自転車 ○ピアノ

ご寄贈ありがとうございます
ございます(敬称略)

養護老人ホーム恵寿園へ
○物品寄贈 宮町寿楽会、佐々木マサニ、佐藤セツ、富士町美生会、新川町新生会



けがや火事をなくしましょう。

たくさんの花火に、一度に火をつけないようにしましょう。
●花火を人や家に向けたり、燃えやすい物のある場所で遊ばないようになります。

●風の強い時は、花火遊びはやめましょう。
●吹出し、打上げなど筒物花火は途中で火が消えても、筒をのぞいてはいけません。

●なるべく大人と一緒に遊びましょう。
●花火に書いてある遊び方を良く読んで、からならず守りましょう。

●たくさんの花火に、一度に火をつけないようにしましょう。